



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

岐阜県 下呂市立竹原中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和4年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人 日本オリンピック委員会（JOC）
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2022年4月～2023年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、
分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、
今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック** : 渥美 万奈 先生 (ソフトボール) 【出場オリンピック/東京2020大会】

■ **期 日** : 2022年9月16日(金)

■ **ク ラ ス** : 2年A組/運動の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ 準備体操



- 東京2020大会にソフトボール競技で出場したと自己紹介。オリンピックバリューについて、エクセレンス:「全力で取り組む」、フレンドシップ:「仲間」「協力」、リスペクト:「感謝」「ルールを守る」と説明。運動の時間は、「挑戦する」ことを意識して取り組んでほしい。
- 準備体操は足の指先のストレッチから始め、全身の各部を伸ばし、最後に股関節を回す。すべてのストレッチは伸ばしている部分を意識することが大切だと伝える。

○主運動 等



- 準備体操後、「言うこと一緒、やること一緒」を実施(全5回)。先生の指示する方向(前後左右)にジャンプで一歩動く。その際先生と同じ言葉を使う。2回目以降は先生と同じ動作で言葉が逆、また、先生と逆の動作で同じ言葉を使う等、ルールを替えて実施。
- 主運動は、「ボール送りリレー」を実施(全3回)。5班に分かれ、各班後ろ向きで一列に並び、1回目2回目は、頭上で後ろの人にボールを送りコーンを回ってゴールする。3回目は頭上の次は足の間からボールを交互に送るルールに変更。着順にポイントを付け、合計点を競う。途中作戦タイムを設け、並ぶ順番やボールを早く送るにはどのようにすればよいか等考える。



- 運動の時間を振り返り、一人一人が協力し合い、作戦タイムで積極的に話し合ったことで順位を上げることができた等、良い結果につながった。チームプレーはオリンピックバリューの価値であり、とても大切なことだ。授業の最初に話した「挑戦する」ことができたかどうかを各自考えてほしい。座学の時間は、自身の経験を話しながら、オリンピックバリューについて更に皆で考えていきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック** : 渥美 万奈 先生 (ソフトボール) 【出場オリンピック/東京2020大会】

■ **期 日** : 2022年9月16日(金)

■ **ク ラ ス** : 2年A組/座学の時間

○自己紹介 ~ 授業の目的確認 ~ オリンピックの価値を伝える



•自己紹介の後、競技を始めたきっかけや東京2020大会で金メダルを獲得するまでをスライドと映像で振り返る。開催が1年延期になったとき、夢をあきらめかけたが、周りの人々に励まされ助けられたおかげで今の自分がある。オリンピックバリューのすべてが、自身の経験と結びついている。皆もやりたいことの大きな目標と、今から始める小さな目標を持ち、その目標に向かって挑戦してほしいと話す。運動の時間にそれぞれが挑戦したこと、皆で協力できたことを話し合ってもらい、グループワークに移る。

○個人ワーク ~ グループワーク 等



発問：運動の時間で挑戦したこと、協力できたことについて書き出してみよう。

発表：エクセレンス：「記録を縮める工夫をした」「自分から進んで動いた」「何度も練習した」「最後まで諦めなかった」「勝つ気持ちで取り組んだ」等

フレンドシップ：「チーム一丸となって取り組んだ」「友達のミスをカバーした」「気持ちを高め合えた」「声を掛け合った」等

リスペクト：「ルールを守った」「お互い拍手を送った」「仲間の意見を尊重した」「友達のアドバイスに感謝の気持ちを伝えた」等



•運動と座学の時間を振り返り、何かに挑戦すること、仲間と協力することはとても大切であり、これからたくさんの中を経験する中で、後悔をしないために、失敗を恐れず挑戦することで新しい発見がある。ぜひ皆には夢をみつけてほしい。夢や目標があるだけで行動が変わり、成長に繋がる。まずは興味を持ったことに挑戦し、仲間と助け合うことを忘れずにしてほしい。東京2020大会で獲得した金メダルと、実際に使用したソフトボールを披露。夢を叶えるチャンスは誰にでもあると伝え、授業終了。

■ 集合写真

・2年A組



■ 記念品贈呈

・2年A組



■ 修了証贈呈

